

特色ある学校づくりのための公募型人事異動 公募校の取組紹介②

～水戸を語り、水戸を誇れる人材の育成～

水戸教育事務所だより第21号に引き続き、公募型人事異動を活用し特色ある学校づくりに取り組んでいる水戸市立第二中学校（2年目）が、成果と課題について、下記のとおりまとめていただきました。



U・Y作「サンタさん」

水戸市立第二中学校

①本校の特徴

本校を含めた三の丸地区は、水戸市の歴史まちづくりの取組により、大手門や二の丸角櫓が復元されるとともに景観が整備され、歴史に関心のある多くの人が訪れる場所となっています。そうした環境の中で、「水戸を語り、水戸を誇れる人材」の育成を推進すべく、生徒と地域と教職員をつなぐ役割を担う教員を公募により求めました。

②公募により配置された教員が担っている役割

加配の教員は、社会科の授業や「水戸まごころタイム」（総合的な学習の時間）の主任などを担っており、本校の特徴を踏まえ、昨年度から、次のような取組を行っています。

- 「水戸まごころタイム」での水戸の先人の教えを基底にした郷土愛の醸成
 - ・ 第二中学校周辺の史跡ウォークラリーの実施（写真右上）
 - ・ 第二中学校周辺の史跡等に関する検定「二の丸検定」の実施
 - ・ 観光客に向けた史跡案内リーフレットの作成 など
- 第二中学校区小中一貫教育「歴史の部会」における出前授業の実践（写真右下）
- 梅まつりの時期に合わせて観光ボランティア活動を行う「魁二の丸隊」の結成及び学習会の実施 など

このような活動を推進するために、水戸市歴史文化財課や観光課などと連絡調整を行い、協力を得ながら、本校の生徒だけではなく、第二中学校区の小学生を含めて、郷土の魅力を人に語ることができる人材の育成を推進しています。



ウォークラリーに取り組む生徒の様子



小学6年生に対して行った出前授業の様子

③成果と課題

成果としては、「水戸まごころタイム」を通して三の丸地区の教育資源を十分に活用した活動を、系統的・発展的に実践することができたことが挙げられます。加配の教員が中心となって活動計画を整理したり、水戸市生涯学習課による出前講座を活用するなどの地域の協力を得たりしたことで、生徒たちは、郷土の魅力に対する理解を深め、他者意識をもって学習した成果を発信することができました。また、小中一貫教育の実践において、第二中学校区の小学生に対して出前授業を行ったことで、第二中学校区の歴史や中学校への進学に対する関心を高めることができました。

課題としては、活動に対する協力団体の発掘や連携体制の構築、小中連携を踏まえた年間指導計画の作成などを進めていく必要があると考えています。

今後もこのような取組を続けていくために、魅力ある教育資源を十分に活用しながら、学校と地域をより緊密に結び付けていく手立てを講じていきます。